

1 現状と課題

- ・新型コロナウイルス感染症の事業者への影響は継続
- ・飲食業、サービス業、小売業、卸売業、旅客運輸業において顕著かつ長期化（令和3年度北上商工会議所第1回経営状況調査）
- ・消費喚起策を望む強い声がある（市ヒアリング調査、事業者影響調査より）
- ・資金借入れなども低調であり、事業者の体力低下を懸念。
▶追加の経済的支援（消費喚起策）が必要
- ・決済の電子化は利便性、効率性、売上向上効果、購買データの活用など多様なメリットから政府が推進
- ・非接触式決済としてウィズコロナの行動様式に適している
- ・ビジネス客の消費、アフターコロナにおける国内旅行者やインバウンド消費環境を整備する必要がある
- ・岩手県内においても、花巻市、一関市、金ケ崎町などにおいてポイント還元キャンペーンの事業実績あり

3 店舗提示型QR決済の模式図（例）

① アプリを起動、店頭で読み込み



② 金額を入力して店員に見せる



お店は決済サービスに申し込みを行い、店頭でQRコードを置くだけ。初期費用はゼロ。

③ 決済完了！

4 実施方針

(1)事業概要

QR決済を使ったポイント還元策(20%)を実施。上限**5,000円**/回、上限**10,000円**/月。

■事業主体

北上商工会議所とする。キャッシュレス決済推進事業（還元原資、販促費ほか経費）に対し10/10を補助

■決済方法

スマートフォンによるQRコード決済

■選定する決済サービス

- ・緊急経済対策に資するよう、シェア、加盟店舗数、実施までの準備期間などを総合的に判断し選定

■実施期間

- ・**12月1日～1月31日**（2カ月間程度）

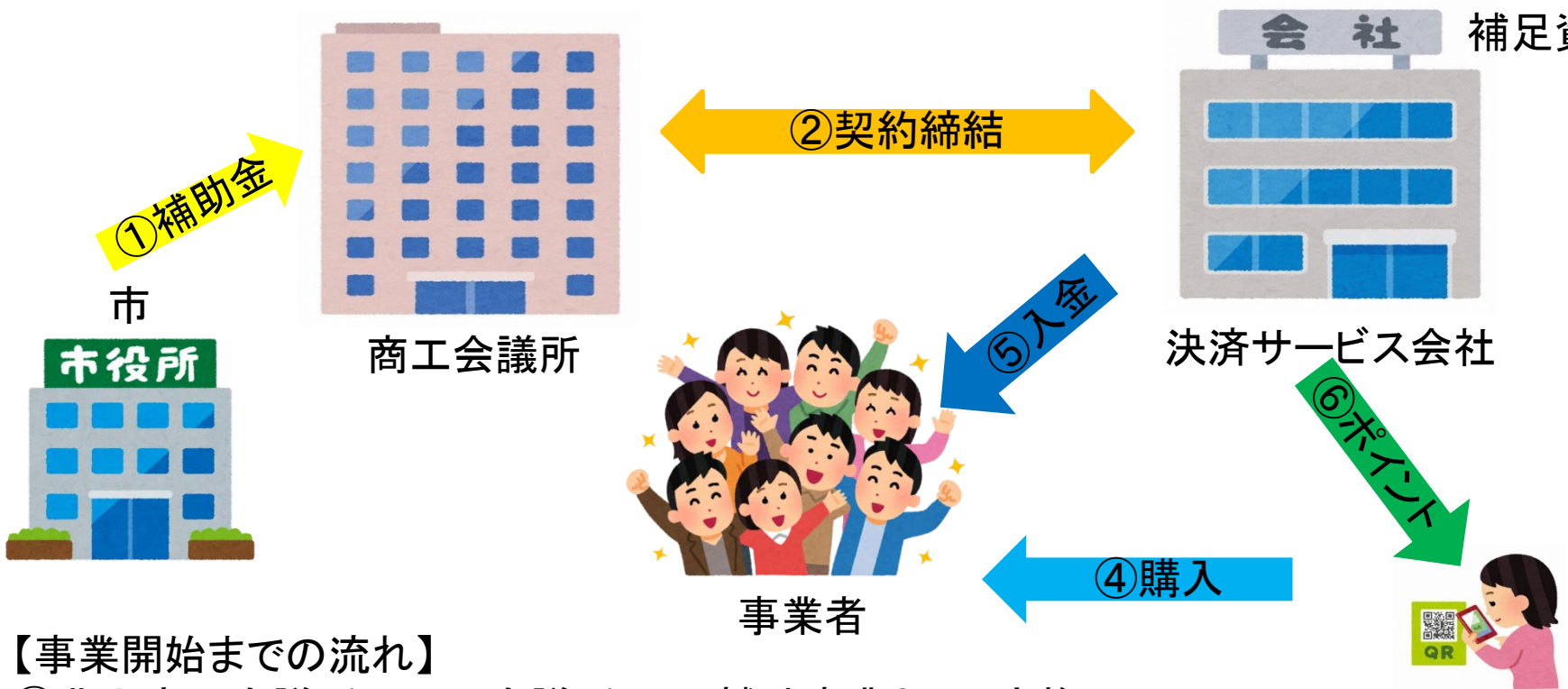
■対象事業者

- ・市内で飲食、小売り、サービス、旅客運輸業を営み、指定する決済サービスに加盟する中小企業者(全国チェーン、フランチャイズを除く)
- ・未加盟店舗に関しては、新規に募集をする。(新規加盟店舗開拓期間として1か月)
- ・対象事業者には業種別ガイドラインの遵守や飲食店安心認証の取得を呼び掛け

■実施目標

- ・市中流通額最大720,000千円を目指す(ポイント還元費最大**1億2千万円**)

事業者応援
プロジェクト!
(第3弾)



【事業開始までの流れ】

- ①北上商工会議所(以下、会議所)への補助事業として実施。
- ②会議所と会議所に選定された決済サービス会社(以下、決済会社)が契約を締結。
- ③会議所と決済会社がそれぞれ新規加盟店舗を募集。(周知期間約1か月)

【事業実施期間中】

- ④消費者が事業加盟店舗で購買(5000円/1回、10000円/1月が還元対象の上限)。
 - ⑤売上から決済手数料(最大1.98%)を差し引いた額が店舗へ入金。
 - ⑥消費者には、決済金額に応じてポイント(20%)が付与される。
- (注意)事業実施期間も③は継続。